

平成25年度進行管理・評価シート
佐賀市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施、推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 佐賀市都市計画道路網の再編	2
2 景観計画の活用と景観条例の運用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 佐賀城公園整備事業	4
2 重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業	5
3 佐賀城堀の水の循環事業	6
4 旧久富家住宅取得保存修理事業	7
5 森永家住宅取得保存修理事業	8
6 旧牛島家(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業	9
7 大隈記念館改修事業	10
8 歴史的風致形成建造物保存修理事業	11
9 石橋再生事業	12
10 周遊ルート環境整備事業	13
11 案内・説明看板及び誘導看板整備事業	14
12 ファサード整備事業	15
13 水路保全整備事業	16
14 緑化推進事業	17
15 佐賀市文化遺産活用「まちみがき・人みがき」事業	18
16 徴古館を活かしたまちづくり推進事業	19
17 地域文化保存・継承支援事業	20
18 指定文化財要覧作成事業	21
19 まちづくりファンド活用事業	22
20 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金	23
21 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・指定	25
1 保存管理計画の策定	26
2 文化財の修理(整備)	26
3 防火に関する事業	27
3 文化財に関する普及・啓発の取り組み	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	28
1 佐賀城、74年ぶり姿現す 東掘石垣説明会に220人 等		
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	29

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成25年度
計画の実施・推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

当該計画の推進にあたっては、法第11条に基づく「佐賀市歴史まちづくり協議会」を中心に、事業実施に関する事項や計画変更に関する協議を行う。
また、重点区域を対象とした歴史的風致の維持及び向上を図るための各種事業や取り組みを庁内の関係課で調整する「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 「佐賀市歴史まちづくり協議会」の設置(平成25年5月21日設置)
同協議会では、事業に関する事項や、計画変更に関する協議を行った。
- 「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」の設置(平成24年8月23日設置 庁内12関係課)
同会議では、計画に記載した事業の調整を進めるとともに、進行管理を行った。
あわせて、「個別調整会議」も随時開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■佐賀市歴史まちづくり協議会構成
平成25年5月21日設置(委員数10名)
委員構成
佐賀市都市計画審議会会長
佐賀市文化財保護審議会
佐賀市景観審議会会長
徴古館副館長(学芸員)
まちづくり関係者
建築士会理事
佐賀県 まちづくり推進課
佐賀県教育庁 文化財課
佐賀市 都市政策課
佐賀市 教育委員会社会教育部 文化振興課
事務局
佐賀市企画調整部都市デザイン課

■佐賀市歴史まちづくり事業調整会議構成
平成24年8月23日設置(関係課12課)
企画調整部
総合政策課、都市デザイン課
教育委員会社会教育部
文化振興課
建設部
建築指導課、都市政策課、
緑化推進課、道路整備課、
道路管理課、河川砂防課
経済部
商業振興課、観光振興課
総務部
財政課

■佐賀市歴史まちづくり協議会の開催状況
開催日:平成25年5月21日(火)
開催場所:佐賀市立図書館
(議題)
・佐賀市歴史的風致維持向上計画について
・平成24年度の事業評価について
・事業スケジュールについて

開催日:平成26年2月18日(火)
開催場所:徴古館
(議題)
・計画の変更について
・平成25年度の事業進捗について
・今後のスケジュールについて



佐賀市歴史まちづくり協議会 平成26年2月18日(火)

■佐賀市歴史まちづくり事業調整会議の開催状況
開催日:平成26年1月31日(金)
開催場所:佐賀市庁舎大財別館
(議題)
・事業進捗、今後のスケジュール

※各課個別調整会議(随時開催)
・個別事業別に進捗管理等の協議



佐賀市歴史まちづくり事業調整会議
平成26年1月31日(金)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
佐賀市都市計画道路網の再編		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 平成17年度に旧佐賀市の都市計画道路を、平成18年度に旧大和町の都市計画道路の見直し案の公表を行った。
 今回の見直しでは、多布施川などに代表される緑あふれる自然環境への影響、良好な住環境やまちなみへの影響を重要視した内容となっている。
 廃止に向けての説明会を開催し、地元の理解を得られた路線から順次廃止の手続きを進めており、平成24年度末までに9路線9区間で廃止または計画の見直しの手続きが完了している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●平成25年度 1路線1区間を廃止した。
 平成25年度の内容:上多布施町線(W=16m L=1750m)⇒廃止

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

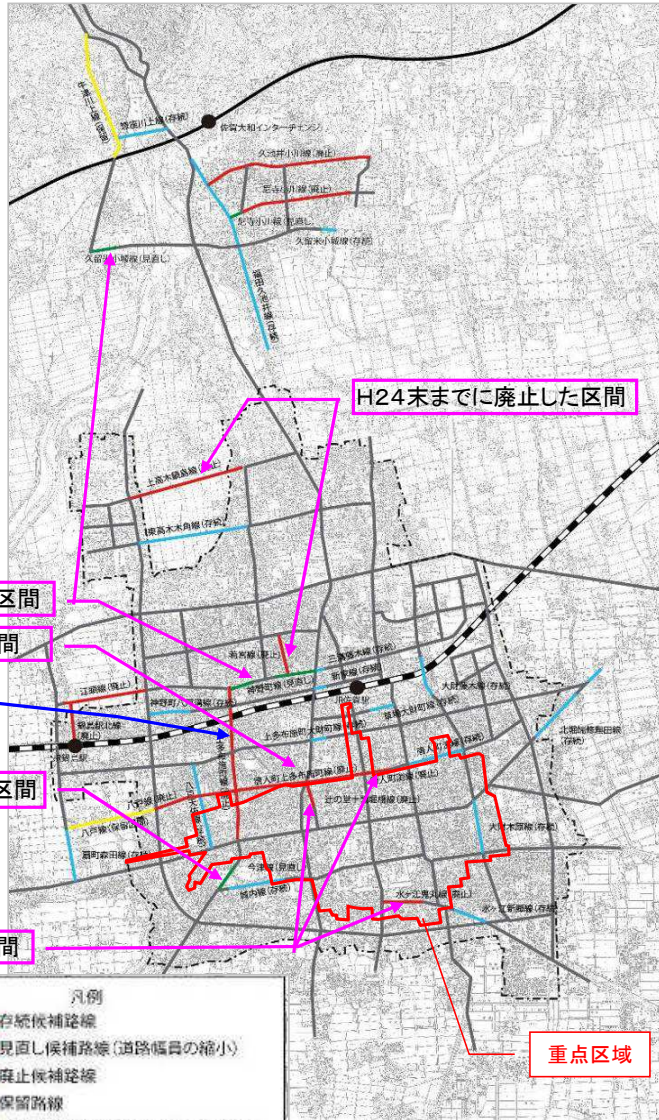
■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

佐賀市都市計画道路の見直しの結果

旧佐賀市の都市計画道路
 見直し対象路線 : 25路線26区間
 (約18.21km)
 見直し結果 : 存続 14区間
 廃止 10区間
 見直し 2区間

旧大和町の都市計画道路
 見直し対象路線 : 6路線8区間
 (約8.20km)
 見直し結果 : 存続 2区間
 廃止 2区間
 見直し 3区間



H24末までに見直した区間

H24末までに廃止した区間

H25に廃止した区間

H24末までに見直した区間

H24末までに廃止した区間

H24末までに廃止した区間

重点区域

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

景観計画の活用と景観条例の運用

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 本市では、市町村合併に伴い、平成18年度に策定した景観計画を見直し、平成23年度に変更を行った。市全域を「景観計画区域」とし、特に重点的に景観の誘導を図る必要があるエリアを「景観誘導エリア」と位置付ける。また、「景観誘導エリア」において、景観法に基づく景観に関するルールについて住民協議が整った地区を「景観形成地区」として指定していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成23年10月 「景観条例」制定
 - 平成24年1月 「景観計画」策定
 - 平成24年4月 「景観条例」施行
- 平成25年度の景観法に基づく届出等の件数(平成26年3月31日現在)
 市域全体:94件(景観形成地区を除く)
 長崎街道・柳町景観形成地区:2件
 城内景観形成地区25件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

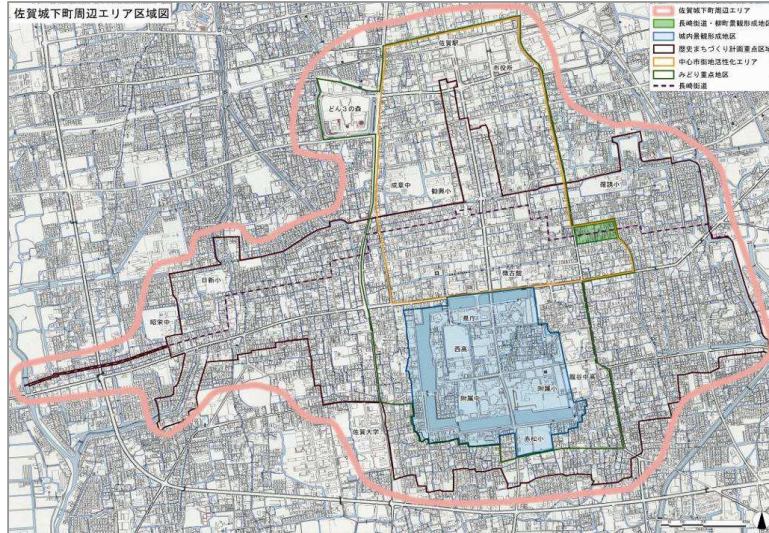
状況を示す写真や資料等



壁面の改修 変更前(トタン)
 長崎街道・柳町景観形成地区



壁面の改修 変更後(漆喰)
 長崎街道・柳町景観形成地区



景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」

凡例					
	佐賀城下町周辺エリア		長崎街道・柳町景観形成地区		城内景観形成地区
	重点区域 (歴史まちづくり計画)		中心市街地活性化エリア		みどり重点区域



景観条例施行前の建築物(色塗替え前)
 景観計画のまちゾーン(本庄町)



建築物の新築及び生垣の設置(着工前)
 城内景観形成地区



景観条例施行後の建築物(色塗替え後)
 景観計画のまちゾーン(本庄町)



建築物の新築及び生垣の設置(竣工)
 城内景観形成地区

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
佐賀城公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	昭和43年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園事業)
計画に記載している内容	第二期工事として、昭和43年から公園計画区域を随時拡大しながら整備を続けてきている。現在、「歴史の森」地区として位置付けた佐賀城の本丸及び二の丸周辺の重点的な整備を進めており、「佐賀城下再生百年構想」に基づき、昭和13年・14年度に埋められた東堀の一部復元工事を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

平成25年度 延長L=15m 石積工A=97㎡
 平成25年度の事業概要: 旧佐賀城東堀の石積護岸の文化財調査を行い、護岸の整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■佐賀城公園 東堀整備計画図

平面図

断面図 (A-A)

- 平成23年度以前 L=135m 石積工A=365㎡
- 平成24年度 L=66m 石積工A=105㎡
- 平成25年度 L=15m 石積工A=97㎡
- 平成26年度 以降

昭和13年・14年度に埋められた東堀 [北西端から撮影] 着工前

文化財調査で発掘された復元前の赤石護岸

復元された東堀の赤石護岸

掘削され堀に復元された東堀の一部 [北西端から撮影] 竣工

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
 この鯨の門は、天保6年(1835)から始まる本丸再建に際し、本丸の門として天保9年(1838)に完成したものである。
 また、この門は、明治7年(1874)の佐賀の役では銃弾にさらされ、現在でも銃弾が観察できる。
 昭和36年11月から昭和38年6月にかけて大規模な保存修理工事を行ったが、経年劣化により、門扉を中心に小修理が必要となったため保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「佐賀城鯨の門及び続櫓」の門扉について、門扉が下がり始めていることから、蝶番部分の修理の必要性について、歴史的建造物修理の専門家に調査を依頼したところ、早急な修理の必要はないとの結果を受け、修理時期についての検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 平成25年度に改修する予定としていたが、専門家の調査結果を受け、修理時期を平成30年度～33年度に変更する。このことに伴う計画変更を平成25年度に行う。

状況を示す写真や資料等



佐賀城鯨の門及び続櫓
 [重要文化財]



復元された佐賀城本丸御殿(左)
 (佐賀県立佐賀城本丸歴史館)



修理を予定していた門扉
 佐賀城鯨の門及び続櫓[重要文化財]



修理を予定していた蝶番部分の拡大
 佐賀城鯨の門及び続櫓[重要文化財]

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
佐賀城堀の水の循環事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成28年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業・効果促進事業)		
計画に記載している内容	多布施川から流入する佐賀城の城堀の水は、農業用水として管理され、城内の水路に流入していたが、現在はその機能が失われて堀の水位が下がったため、城内の水路に水が流れなくなっている。このため、流水口に樋門などを設置し、お堀の水位管理を行うとともに城内の水路の改修を行い、堀の水を城内に循環させる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①お堀の水位高調査 ②お堀に直結した水路の水位高と民有地の地盤高調査			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	佐賀市が策定中の「佐賀市排水対策基本計画」と調整を行いながら検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
●事業スケジュール 平成25年度:調査 平成26年度:水門調査、ゲート位置決め等調査委託 平成27年度:実施設計(予定) 平成28年度:整備(予定)	●調査箇所位置図及び写真 		
			
調査箇所①	調査箇所②		
お堀東南の筋違橋 水位高調査	お堀に直結した水路の水位高と民有地		

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成25年度

旧久富家住宅取得保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------	---

事業期間 平成24年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
市単独事業

計画に記載している内容 長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に位置する旧久富家住宅を取得し、保存修理を行い公開する。旧久富家住宅は、大正10年に「履物問屋 久富商店」として建てられたもので、外観は大棟の妻壁を大きく見せ、大正期の大型町家として力感あふれる表構えであり、主屋西側の土蔵造りとともに、当時の面影を良く残している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度: ●歴史的風致形成建造物の指定、用地取得(建物は寄付)、図面作成
平成25年度: ●平成25年7月6日(土)・7日(日)見学会実施
●平成25年7月～平成25年8月 1階部分活用候補者募集(決定)
●平成25年9月 2階部分活用候補者募集(未決定のため、平成26年度再募集予定)
●改修設計、工事発注

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●事業スケジュール

平成24年度: 歴史的風致形成建造物の指定、取得、家屋調査、見学会
平成25年度: 設計、見学会、活用者募集
平成26年度: 工事、活用者募集(2階部分)、平成27年2月活用開始予定



旧久富家住宅
履物問屋 久富商店



附属土蔵



旧久富家住宅見学会(平成25年7月6日・7日)



旧久富家住宅見学会資料

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
森永家住宅取得保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業

計画に記載している内容 長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に位置する森永家住宅を取得し、保存修理を行い公開する。森永家住宅は、明治前期の建物が3棟(主屋・表土蔵・裏土蔵)残されており、当初は煙草製造販売業を営んでいたが、明治37年の煙草専売化に伴い呉服商に転じ、昭和9年まで呉服店を営んでいた。表土蔵は、妻入りの2階建て正面の森永呉服店の木看板の文字が目を惹く。裏土蔵は、妻入りの3階建て、敷地南側を流れる裏十間川に面して建ち、裏十間川に面した部分にも出入口を設け船運に対応したとみられる。西側の主屋は切妻造平屋建てである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度: ●歴史的風致形成建造物指定、用地取得(建物は寄付)、図面作成、見学会実施、活用者募集
 平成25年度: ●平成25年4月8日(月) 活用候補者選定審査会実施(表土蔵のみ決定)
 ●平成25年7月6日(土)・7日(日)見学会実施
 ●平成25年7月～平成25年8月 活用候補者再募集(主屋・裏土蔵決定)
 ●改修設計、工事発注

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 平成24年度に佐賀市が取得したことに伴い、名称を「旧森永家住宅」に変更した。このことに伴い平成25年度に計画変更を行う。

状況を示す写真や資料等

●事業スケジュール

平成24年度: 歴史的風致形成建造物の指定、取得、家屋調査、見学会、活用者募集
 平成25年度: 設計、見学会、活用者募集
 平成26年度: 工事、平成27年2月活用開始予定



表土蔵



主屋



地区唯一の3階の裏土蔵



森永家住宅見学会資料



森永家住宅見学会(平成25年7月6日・7日)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
旧牛島家(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に建つ旧牛島家は、佐賀市重要文化財に指定されており、佐賀市歴史民俗館を構成する施設の一つである。
 旧牛島家は、江戸期に問屋業を営んでいた建物で、城下町南東の旧下今宿町にあった。この建物の建築年代は、18世紀前後に遡ると考えられ、佐賀市で最も古い町家建築として重要であり、道路拡幅に伴って現在地に移築された。
 移転整備後10年以上が経過し、雨漏りや漆喰落ちなどが見られるようになってきたため、老朽化による損傷状態を調査した上で、保存のための整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度に実施した雨漏りや漆喰落ち箇所などの損傷状態の調査結果を元に、修復設計業務を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●事業スケジュール

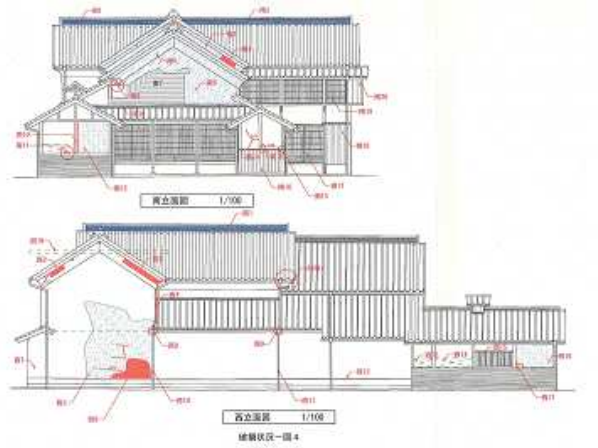
平成24年度: 歴史的風致形成建造物指定、家屋調査

平成25年度: 設計

平成26年度: 工事



旧牛島家[市重要文化財]
佐賀市歴史民俗館



修復予定箇所(南面・西面)

現況写真



のどくり軒 西面土壁剥落



外壁 西面土壁剥落

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
大隈記念館改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)内部及び設備改修等
社会資本整備総合交付金(効果促進事業)

計画に記載している内容 史跡「大隈重信旧宅」の隣に建つ大隈記念館は、昭和42年に開館した大隈重信侯にまつわる歴史資料を展示する施設である。同館の設計者は、早稲田大学建築学科教授であった今井兼次氏であり、どっしりとした独特の建物意匠は、大隈侯の動かざる姿をイメージしたものといわれている。
今回、開館以来行っていない内部及び設備の改修と展示施設の更新を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「大隈記念館整備計画策定検討委員会」からの答申を受け、全体改修構想、実施設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	検討に時間を要したため、事業実施期間の変更について、平成25年度に計画変更を行う。

状況を示す写真や資料等

●事業スケジュール

平成24年度: 歴史的風致形成建造物指定、整備構想検討

平成25年度: 設計

平成26年度: 工事

■大隈記念館整備検討委員会

委員数15名

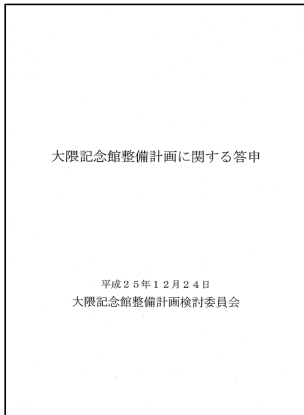
平成24年9月28日設置

4回開催

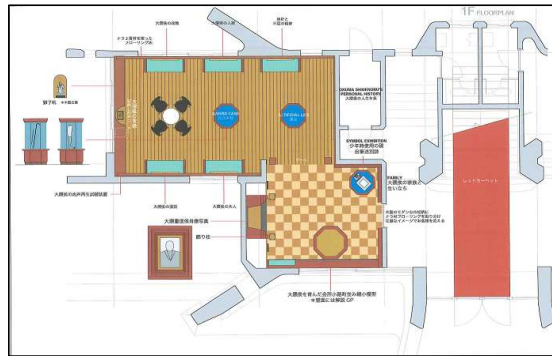
答申: 平成25年12月24日



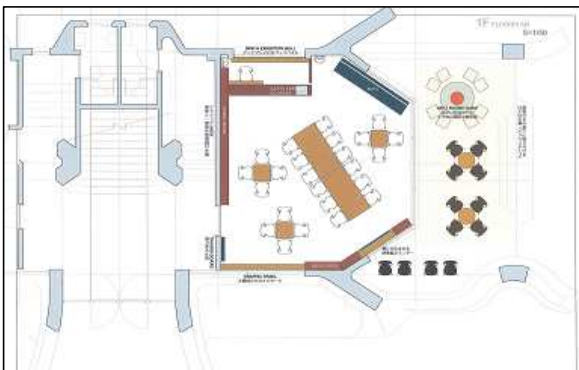
大隈記念館外観



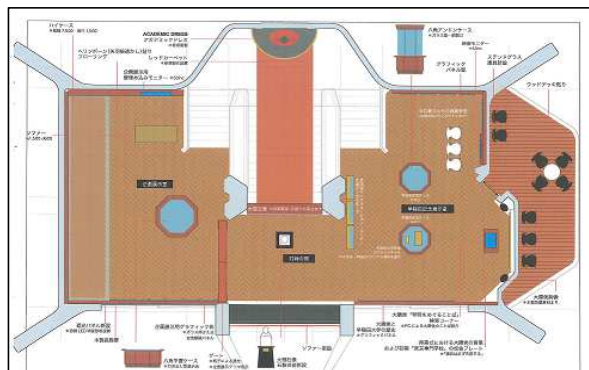
大隈記念館整備検討委員会からの答申書



改修平面図(1階東)



改修平面図(1階西)



改修平面図(2階)

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 重点区域内に点在する伝統家屋や寺社建築などの歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、修理に対する助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度補助要望なし

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成25年度までに指定した物件はすべて市所有の物件であり、今後必要に応じて追加指定、保存修理を検討していく。

状況を示す写真や資料等

歴史的風致形成建造物及び指定候補

The map shows the locations of 19 historical buildings and candidates in Sagami City. The buildings are marked with colored dots: green for designated cultural assets and pink for candidates. A scale bar indicates 0, 500m, and 1,000m. A north arrow is also present.

19. 大隈記念館

14. 野中烏犀園

17. 旧久富家住宅

7. 旧古賀銀行

8. 旧古賀家

9. 旧牛島家

11. 旧三省銀行

15. 馬場家住宅

18. 旧森永家住宅

10. 旧福田家住宅

2. 佐賀(龍造寺)八幡宮石造肥前鳥居

1. 武家屋敷の門(中の小路)

13. 敬古館

6. 武家屋敷の門(八幡小路)

5. 伊勢神社の石造肥前鳥居及び肥前狛犬像

長崎街道

3. 鐘楼

16. 山口亮一旧宅

4. 武家屋敷の門(水ヶ江二丁目)

12. 旧佐賀城本丸御座間・堀忍所

歴史的風致形成建造物及び指定候補
(青字は指定候補)
市指定文化財及び登録有形文化財(予定を含む) ●
文化財未指定の歴史的建造物 ●

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
石橋再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 水路に架けられている橋は、上面はアスファルトなどに覆われているが、その下には今でも石橋が残っている。このため、城下町の石橋の悉皆調査と再生方法の検討を行い、石橋を表面に出す再生事業を、特に長崎街道や周遊ルートを中心として行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

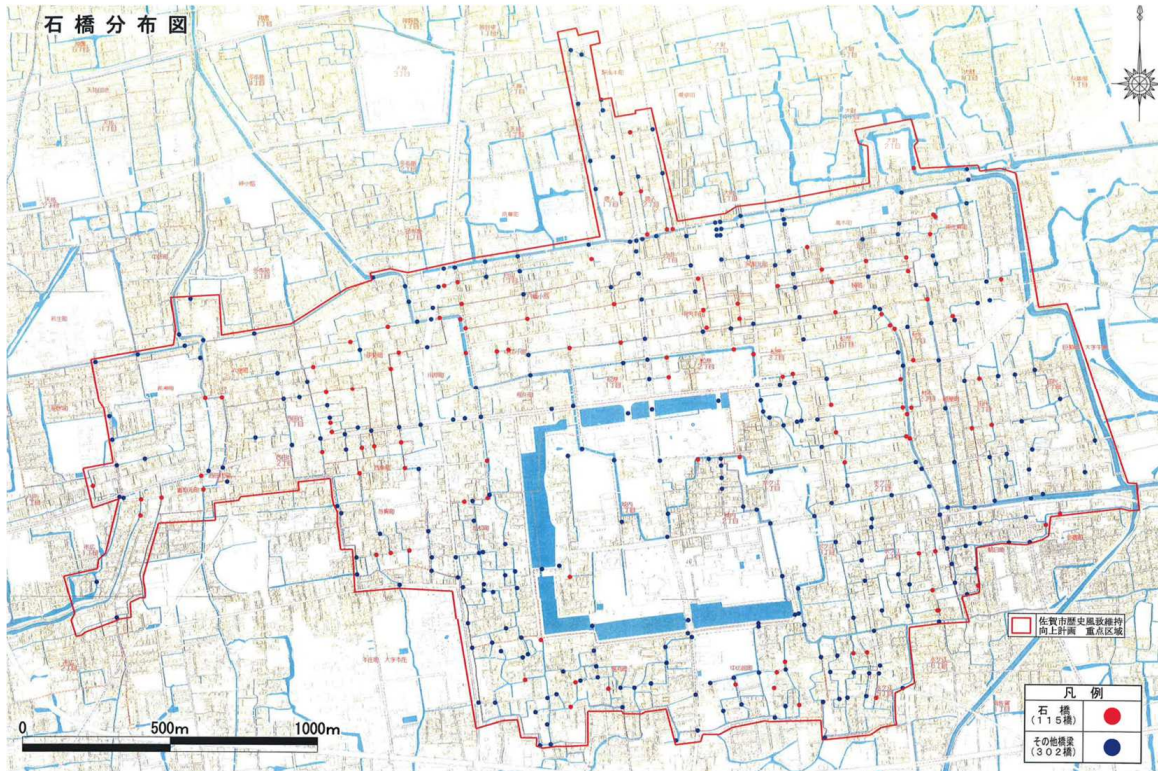
悉皆調査結果を元に、現地確認等を実施しながら再生手法を検討した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

景観保全と交通の安全性を両立しながら再生手法を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



<再生を検討する石橋の例>



アスファルトにかくれた石橋



左写真の石橋を横から撮影



寺社にある石橋

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
周遊ルート環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物等やまちなみを見ながら、自転車で快適に周遊できるよう周遊ルートや駐輪場などの整備を行う。
また、多布施川などの周遊ルートの沿道には、ガードレールなどの防護柵、標識が設けられているが、景観への配慮が足りないものが多い。このため、景観に配慮した防護柵などの改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

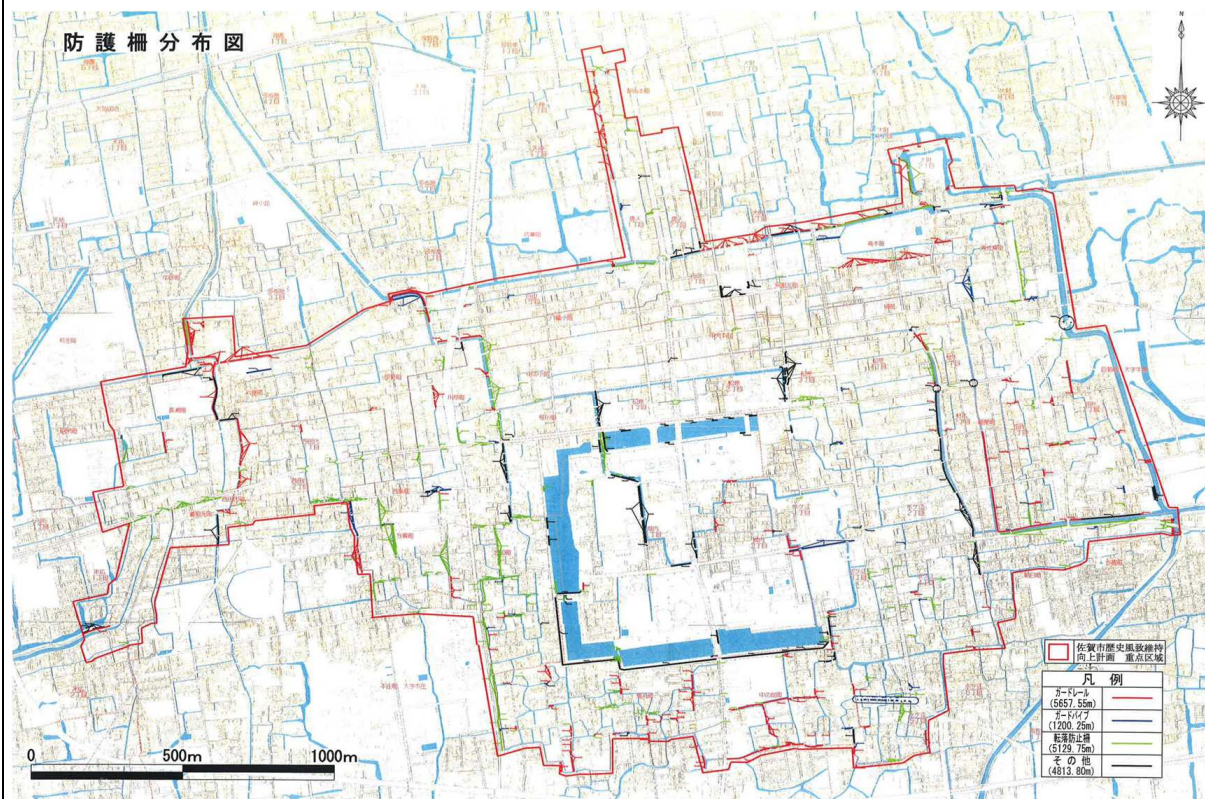
ガードレール等の現状調査結果に基づき、改修方針を検討した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

景観保全と交通の安全性を両立しながら再生手法を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



<改修が必要な防護柵の例>



白い防護柵



軽度の腐食のある防護柵



変形・腐食した防護柵

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成25年度									
項目		現在の状況										
案内・説明看板及び誘導看板整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手										
事業期間	平成25年度～平成33年度											
支援事業名	重点区域内:社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 重点区域外:市単独事業											
計画に記載している内容	案内・説明看板や誘導看板に関して、統一感あるデザインを作成し設置を行う。 重点区域外において、合併前の各市町村それぞれのデザインで設置されてきた案内・説明看板や誘導看板についても、同じデザインの看板の設置を進める。											
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で												
案内・説明看板の整備にあたり、公共サインガイドラインの策定について検討した。												
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)												
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		統一的な基準を策定した上で、現状で足りないところや老朽化した案内板、説明看板等を整備していく。										
状況を示す写真や資料等												
<p>●事業スケジュール 平成25年度:検討 平成26年度:公共サインガイドライン策定 平成27年度～:サイン整備開始(予定)</p> <p style="text-align: center;">統一されていない公共サインの例</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">総合案内サイン</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">誘導サイン</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">解説サイン</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				総合案内サイン			誘導サイン			解説サイン		
総合案内サイン												
誘導サイン												
解説サイン												

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
ファサード整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 事業箇所は長崎街道の一部であり、まちなかと佐賀市歴史民俗館を結ぶ周遊ルートとして重要な道路である。この通りには、江戸時代から昭和にかけての様々な意匠の建造物があるものの、現在看板に覆われており、直接その外観を見ることができない。このため、「まちなみ形成ガイドライン」を作成し、各建造物が持つ意匠を活かす改修などに対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「まちなみ形成ガイドライン」策定のために、他市事例等をもとに基準内容について調査検討を行った。

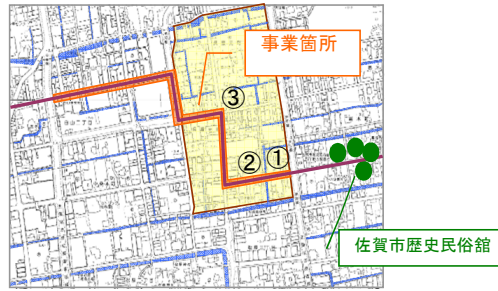
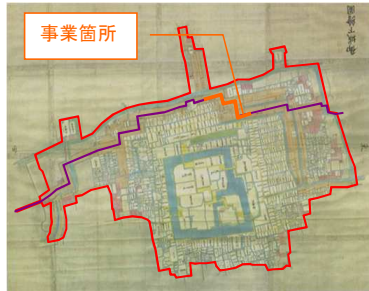
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

商店街等の所有者の意向を踏まえながら「まちなみ形成ガイドライン」を検討していく必要があり、他市の事例等研究しながら進めていく。

状況を示す写真や資料等

事業箇所の現況



歴史的建造物が点在する長崎街道・呉服元町の商店街



①長崎街道・呉服元町の商店街



②長崎街道・呉服元町
平成26年2月15日にオープンした恵比須ステーション



③長崎街道・呉服元町の商店街

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
水路保全整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～平成33年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)新規整備事業 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)修復事業

計画に記載している内容 長崎街道や周遊ルートの橋上から見える水路の範囲を指定し、石積護岸や水辺に下りる階段状の柵路の復元・整備のための事業やそうした事業に対する助成を行い、橋上などから見える景観を保全する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

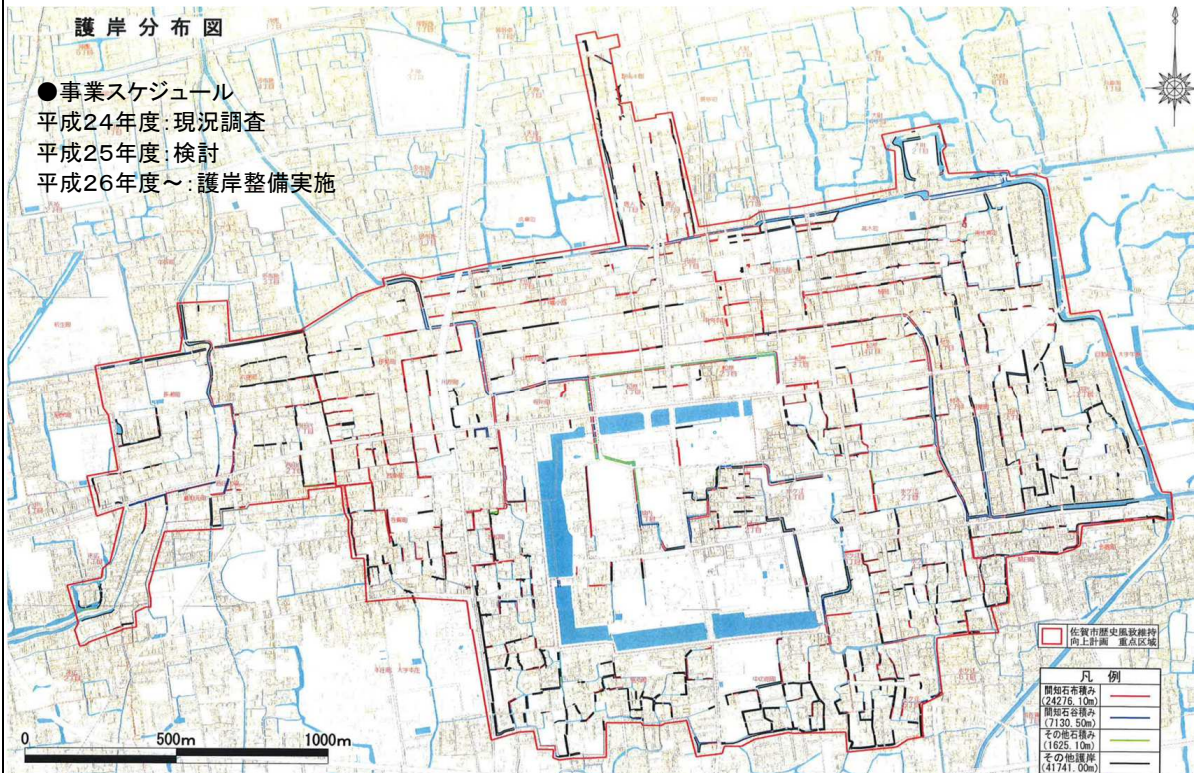
水路、柵路の現況調査に基づき、実施エリア等について検討を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

景観保全と安全性を両立しながら再生手法を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



<改修を検討する柵路、護岸の例>



今も使われている柵路



塞がれた柵路



崩れかけている護岸

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
緑化推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成24年度～平成33年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業) 助成制度 市単独事業
計画に記載している内容	平成20年度に施行した「佐賀市みどりあふれるまちづくり条例」に基づき、緑化を重点的に推進する区域として、佐賀市歴史的風致維持向上計画の重点区域の一部とその周辺を対象に平成23年8月に「みどり重点地区」を指定した。 これにより、公共施設敷地や周遊ルートにおける緑化の推進や民有地の緑化の推進を行う。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度の「みどり重点地区」内の事業
 ポケットスペース、オープンスペースへの植栽: 1ヶ所、学校等公共施設の緑化: 2校、民間施設の緑化: 2件、大木の保全: 1件、自治会やボランティア等が行う地域環境緑化活動への支援: 22団体

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 平成25年度の「みどり重点地区」での緑化の取り組み
 - ポケットスペース、オープンスペースへの緑化
 - 松原神社北東オープンスペース植栽(約74㎡)
 - 高木10本(シマトネリコ、常緑ヤマボウシ等) 低木65本 花苗等726苗
 - 学校等公共施設の緑化
 - 成章中学校 植栽 オウゴンマサキ467本、オタフクナンテン36本
 - 勸興小学校 芝張 約188㎡
 - 民間施設の緑化(地域住宅計画に基づく事業)
 - 緑化協定締結 1件
 - 緑化協定を締結した民有地の緑化工事への補助 1件
 - 大木の保全
 - 保存樹の指定 1本(八坂神社のクスノキ)
 - 自治会やボランティア団体等が行う地域環境緑化活動への支援
 - 花苗: 21団体(22,281苗)
 - 樹木: 1団体(1本)



民間施設の緑化

松原神社北東オープンスペースへの植栽



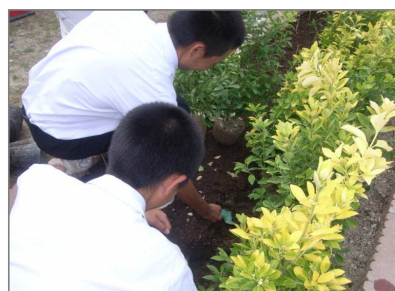
竣工前



ボランティアによる地域緑化活動
(西松原長生会)



竣工後



学校等の緑化(成章中学校)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
佐賀市文化遺産活用「まちみがき・人みがき」事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成25年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業
地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

計画に記載している内容 「さが城下まちづくり実行委員会」と「佐賀市文化遺産体験活動実行委員会」の2つの実行委員会が事業を実施している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 地域の文化遺産を活かした地域活性化事業(主催:さが城下まちづくり実行委員会)
 - ・佐賀城堀(県史跡)の水辺体験会とミニ歴史講座開催
 - ・お濠めぐり舟の乗舟:お濠めぐり舟上で、佐賀城跡の歴史案内をしながら、佐賀城濠のお濠めぐり舟を運行した。
- 地域の文化遺産を活かした地域活性化事業(主催:佐賀市文化遺産体験活動実行委員会)
 - ・いけばな・茶道・和太鼓・能等の子ども教室を18団体により実施した。
 - ・子ども教室の成果を発表する18団体合同の発表会を開催した。開催日:平成26年2月1日・2日 出演者数:300名
- 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業(主催:さが城下まちづくり実行委員会)
 - ・佐賀城下に関する基礎データの調査、整理作業
 - ・佐賀城下探訪会を4回開催した。参加者数:539名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 佐賀市子ども伝統文化塾事業の合同発表会(平成26年2月1日・2日) 佐賀市文化遺産体験活動実行委員会



太鼓発表会



華道発表会

- 佐賀城堀(県史跡)の水辺体験会とミニ歴史講座 さが城下まちづくり実行委員会



第1回 佐賀城下探訪会 さが城下まちづくり実行委員会

- 平成25年度佐賀城下探訪会 参加者総数:539名
 - ・第1回「佐賀城内再訪」
平成25年9月29日(日) 参加者数:166名
 - ・第2回「龍造寺ゆかりの史跡めぐり」
平成25年10月20日(日) 参加者数:141名
 - ・第3回「八戸一城下西の玄関口」
平成25年11月17日(日) 参加者数:100名
 - ・第4回「蓮池・諸富探訪」
平成25年12月15日(日) 参加者数:132名

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度
			現在の状況
徴古館を活かしたまちづくり推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 平成20年10月3日に(公財)鍋島報効会と佐賀市との間で締結した「徴古館を活かしたまちづくり基本協定」に基づき、徴古館周辺の都市公園整備と徴古館が有する鍋島家伝来の歴史資料を活用したまちづくりを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●鍋島家伝来の歴史資料や美術工芸品を所蔵する公益財団法人鍋島報効会が運営する徴古館(登録博物館)で、企画展及び企画展に関連した各種イベントを開催した。

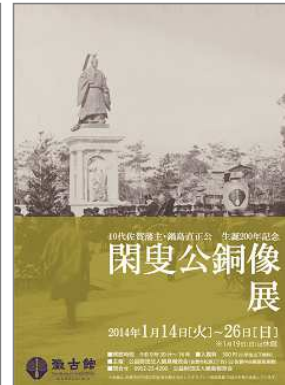
- ・企画展の開催(5回) 入館者 18,046人
- ・企画展に関連して2階フロアを活用する各種イベントを開催 参加者2,362人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●企画展(5回開催)			
「生花・去風流 一最後の家元・19世松旭堂露山」展	平成25年5月20日(月)～7月20日(土)	入館者	522名
「鍋島家伝来 陶磁器名品展」	平成25年8月19日(月)～10月12日(土)	入館者	962名
「鍋島閑叟の書」展	平成25年10月28日(月)～12月21日(土)	入館者	650名
「閑叟公銅像展」	平成26年1月14日(火)～1月26日(日)	入館者	377名
「鍋島家の雛祭り」展	平成26年2月15日(土)～3月31日(月)	入館者	15,535名



「鍋島閑叟の書」展
閑連講演会・ギャラリートーク



ひなまつり期間中のイベント(お抹茶席)



ひなまつり期間中のイベント(茶花展)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況
地域文化保存・継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	地域資源を次期世代に引き継ぐため、地域資源を維持・保全及び継承するための地域活動又は地域資源を活かした地域活性化の活動を行う団体に対し財政的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度採択事業

- 伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業 2件
 - ①嘉瀬町荻野地区で継承される乙護神社奉納浮立の裃天・篠笛の購入
 - ②嘉瀬町の北島地区ほか5町で継承されている四面神社奉納浮立の子供用鉦の購入
- 地域の自主的な活動(地域資源の保存継承)事業 4件
 - ①新栄校区に所在する五龍神社の絵馬制作。「未来の夢と希望」をテーマに地元の子供たちに絵を募集し、絵馬を制作した。
 - ②大和町大久保地区に所在する大師堂の三十六歌仙絵馬の複製作成。絵画や和歌の揮毫は地元の人材を活かして作成した。
 - ③「観音堂夏まつり」等を通して地域住民の交流や地域活動の場となっている諸富地区の観音堂の修繕。
 - ④北川副の歴史的・文化的資産が身近にあることを伝えるため、誰もが手軽に持て、学べる「歴史文化マップ」を作成。地域に配布し、地域のイベントに活用する。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○ 伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業(補助対象経費の1/3以内で上限30万円)

No.	申請団体名	事業名	申請内容
①	嘉瀬町荻野自治会 (会長 池田善孝)	乙護神社奉納浮立 裃天、篠笛の購入	裃天(大人用)15着、篠笛5本の購入
②	嘉瀬元町自治会 (会長 亀山泰典)	嘉瀬町四面神社奉納浮立 子供用の鉦の購入	子供用の鉦(10個)の購入

○ 地域の自主的な活動(地域資源の保存継承)事業(補助対象経費の2/3以内で上限30万円)

No.	申請団体名	事業名	申請内容
①	新栄校区自治会 (会長 齊藤浩章)	絵馬の復元	かつて五龍神社には天井全面に絵馬が飾られていた。長い年月の間の風化や修理によって天井絵馬がなくなってしまった今、絵馬の制作を通して、地域住民ひいては未来の子供たちに絵馬という伝統文化を継承したい。
②	諸富自治会 (会長 近藤道雄)	観音堂修繕	観音堂は昔から地域住民により保存・伝承してきたものであり、地区の伝統行事である「観音堂夏まつり」は、世代間の交流や地域活動の活性化につながっている。観音堂内部の天井等の腐食が進んでいるため、修理を行い、今後も地元で継承していく。
③	北川副まちづくり協議会 (会長 福田繁文)	北川副校区の歴史文化マップ作成	地元素晴らしい文化財・遺産が身近に「在る」ことを知ってもらうことから始めようと、誰もが手軽に持て、学べる「歴史文化マップ」を作成し、「知る」ことから「探る」活動に繋げていく。更に、歴史文化の維持・保全や継承・育成へと繋げていければと期待する。
④	大久保自治会 (会長 池田康弘)	歌仙絵馬継承・活用事業	大和町川上の大久保部落、大師堂の三十六歌仙絵馬は大久保住民により長年守り伝えられてきた歴史的・文化的な資源であり、今後も保存継承されるべき資源である。これらの絵馬は経年劣化等により絵や文字が剥落しており、修復は難しいと思われるため、複製を作成する。更には、複製を活用して世代間交流事業を展開し、地域文化として定着させていく。また、次世代を担う子供たちに和歌に親しみ、伝統行事や地域文化を大切にすることを育てていきたい。



諸富自治会: 観音堂修繕



荻野自治会: 裃天と篠笛購入



嘉瀬元町自治会: 子供用の鉦

評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
指定文化財要覧作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年～平成25年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	市町村合併後、当市の指定文化財の概要を記したものがなかったため指定文化財要覧の作成を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財要覧に記載する説明文について、既説明文の確認修正及び新規説明文の専門家による筆耕を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文書作成とその検証に時間を要することから、平成24年から3か年をかけて事業を実施することになり、完成時期が平成26年度となることから、事業期間について、平成25年度に計画変更を行う。
--	---

状況を示す写真や資料等



旧佐賀市指定文化財要覧 平成15年3月発行

佐賀市重要文化財 絹本淡彩金立神社縁起図(1幅)

所在地 佐賀市内一丁目 佐賀
 指定年月日 昭和47年2月11日

金立神社縁起図は絹布3枚縫装である。画面は上・中・下の社下宮、下段は徐福上陸の場と金立神社の祭神にちなむ縁起に描かれ、多くの人物を配して描写している。箱書によれば、縁起の構図や色彩等から見ると、石造から考えて、この図の一部に汚損の箇所があり、県内所在のものとしては高く評価されるものである。資料としての価値も高い。

佐賀市重要文化財 大涅槃像(1幅)

所在地 佐賀市本庄町大字本庄 高伝寺
 指定年月日 昭和59年3月26日

高伝寺は佐賀藩主鍋島家の菩提寺で横3間半(6.3メートル)もある巨大なもので涅槃会の際に寺院の本堂とした釈迦堂開扉に公開されている。『書影閣書』に、佐賀藩3代藩協力を得て、京都東福寺にある作者は不明である。箱の裏に「町経師若井利左衛門利久」目付であろう。また、画面の裏面に「天保十三年(1842)十一月付だと思われる。この大涅槃像は、市内における代表的なもののひとつとしてその

佐賀市重要文化財 絹本着彩与賀神社縁起図(1幅)

所在地 佐賀市与賀町 与賀神社
 指定年月日 昭和63年3月1日

与賀神社縁起図は、延宝6年(1678)に佐賀藩2代藩主光茂夫人から奉納寄進されたものである。絹本着彩天地2.17メートル、幅1.65メートルで、筆者は永松玄徳である。社伝にもとづき、神を感知してから社を創建し、御神幸が行われるまでの過程を、物語風に展開した画面構成となっている。物語物をはじめとして、描写は細密で、画面の構成も整っており、大和絵風に描写されている。筆者の永松玄徳は、佐賀の画家永松秀精の父で、子秀精は源左衛門と称し、元鍋島弥平左衛門の家臣であったが、寛保2年(1742)に絵師として本藩に召しかかえられたと伝えられる。

専門家による説明文原稿

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
まちづくりファンド活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成27年度		
支援事業名	佐賀市ふるさとづくり基金		
計画に記載している内容	佐賀市ふるさとづくり基金を活用し、次の事業を実施する。 ① 市民主導のまちなか「通り」導線づくり事業 ② 歴史的建造物等を生かした交流とにぎわいづくり事業 ③ 重要建造物等活用事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度採択事業 ●市民主導のまちなか通り導線づくり事業 3件 中心市街地の空き地及び空き店舗を活用するための整備、ファサード整備			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●空き地活用整備			
 <p>[着工前]</p>		●空き店舗活用及びファサード整備	
 <p>[竣工]</p>		 <p>[着工前]</p>	
		 <p>[竣工]</p>	
●空き地活用及びファサード整備			
 <p>[着工前]</p>		 <p>[竣工]</p>	

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
佐賀市指定文化財維持管理謝礼金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 佐賀市指定文化財を維持及び管理する個人・団体に対し、謝礼を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐賀市指定文化財維持管理謝礼金 89件
 謝礼金の目的:
 市指定文化財の適正な維持管理を行っている所有者(又は管理者)に対し謝礼金を支払うことで、所有者等としての自覚並びに文化財愛護の意識高揚を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■平成25年度 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金一覧

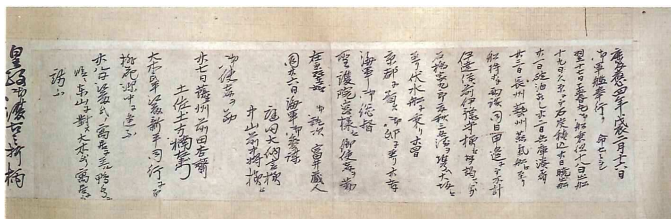
- 佐賀市指定重要文化財の管理者 56件
 工芸品17件、古文書3件、建造物12件、石造物1件、彫刻13件、絵画3件、書跡3件、歴史資料4件
- 佐賀市指定重要有形民俗文化財の管理者 9件
- 佐賀市指定史跡の管理者 12件
- 佐賀市指定天然記念物の管理者 12件



木造鍋島直直坐像(1軀)
市重要文化財(彫刻)
所有者等 高伝寺



大涅槃像
市重要文化財(絵画)
所有者等 高伝寺



島義勇の旅日記(1巻)
市重要文化財(書跡)
所有者等:個人



大小野の石楠花(1株)
市天然記念物
所有者等 個人

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	国・県・市指定無形民俗文化財の保存団体などに対し、同団体などが実施する無形民俗文化財を継承していく取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 11無形民俗文化財 10団体
補助金の目的
国・県・市指定の無形民俗文化財の継承を支援することを目的とし、保存団体等の実施する無形民俗文化財継承事業に要する経費(保存会の運営に関する経費)に対し、補助金を交付する。
- 指定無形民俗文化財保存会代表者会の開催 12無形民俗文化財 13団体
会設置の目的
指定無形民俗文化財保存会の代表者が集まり、事例発表や情報交換を行うことにより、団体間の連帯感を強め、今後の無形民俗文化財の保存継承につなげる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■平成25年度 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金申請一覧

名称	文化財指定	所在地	奉納場所	保存会等名称
1 白鬚神社の田楽	国指定	久保泉町川久保	白鬚、勝宿神社	「白鬚神社の田楽」保存会
2 見島のカセドリ	国指定	蓮池町見島	熊野権現社	見島のカセドリ保存会
3 市川の天衝舞浮立	県指定	富士町市川	諏訪神社	市川天衝舞浮立保存会
4 三重の獅子舞	県指定	諸富町為重	新北神社	諸富町無形文化財保存会
5 太田の浮立	市指定	諸富町太田	太田神社	
6 浮立玄蕃一流	市指定	神野町東神野	掘江神社	西神野浮立保存会
7 高木八幡ねじり浮立	市指定	高木瀬町東高木	高木八幡宮	高木八幡ねじり浮立保存会
8 海童神社奉納浮立	市指定	川副町犬井道	海童神社	南川副浮立保存会
9 松枝神社奉納浮立	市指定	川副町大詫間	松枝神社	大詫間浮立会
10 東与賀銭太鼓	市指定	東与賀町	不定	東与賀銭太鼓を育てる会
11 快万浮立	市指定	久保田町快万	香椎神社	快万浮立保存会
計	申請数	11無形民俗文化財		10団体

- 指定無形民俗文化財保存会代表者会 (平成25年8月6日開催)
12無形民俗文化財、13団体
- ・祭事等の事例報告
- ・行政や民間の助成金及び補助金の説明
- ・各団体の課題・問題点などの意見交換



指定無形民俗文化財保存会代表者会
(平成25年8月6日開催)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
文化財の調査・指定 保存管理計画の策定		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 ●未指定の文化財については、文化財としての価値調査を行い、その結果に基づき指定・登録を行うとともに、その保存と活用に努める。
●個々の文化財の状況を確認しながら、保存活用計画の策定に向けて検討を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財調査
 - 市域全体 確認調査205件 本調査19件
 - 内歴まち計画重点区域 確認調査17件 本調査0件
- 文化財の新指定及び新登録
与賀神社本殿・幣殿・拝殿:国登録有形文化財(建造物)登録(H25.6.21告示)
- 保存管理計画
三重津海軍所跡の保存管理計画策定(H25.12.27)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



与賀神社本殿・幣殿・拝殿
〔国登録有形文化財(建造物)登録(H25.6.21告示)〕
本殿・幣殿・拝殿を一直線に接続した複合社殿
現存する本殿と拝殿の棟札は、宝暦8年(1758)・
宝暦9年(1759)とある。



三重津海軍所跡
写真は、在来の土木工法による幕末期の
船渠(ドック)



三重津海軍所跡全景
(赤枠内が史跡指定範囲を示す)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
文化財の修理(整備)、防災に関する事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- 指定文化財の保存修理にあたっては、佐賀市以外の所有の場合は、所有者などとの連携を図りながら適切な保存修理を行い、また、市所有の指定文化財については計画的な保存修理を行う。
- 既指定文化財建造物のうち、消防施設が老朽化しているものや型式が適合しないものについては、速やかに消防設備の設置を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の修理
 旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)[重要文化財]の可動桁滑車補修
 国相寺の楠(市天然記念物)保護増殖
 与賀神社の楠(県天然記念物)保護増殖
 三重の獅子舞[県重要無形民俗文化財]の平太鼓修理
 万部塔と六地藏の玉垣修復[市史跡]
- 防災関係の取り組み
 文化財防火訓練 神社関係者、自治会、消防団、消防局等 約70名参加

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



万部塔と六地藏(市史跡)
玉垣修復 上写真:修復前 下写真:修復後



旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)
[重要文化財]



右写真:可動桁滑車補修中



三重の獅子舞
(県重要無形民俗文化財)
平太鼓の修理

右上写真:修理前
右下写真:修理後



文化財防火訓練 平成26年1月26日
与賀神社
楼門、鳥居、石橋 国指定重要文化財
本殿、幣殿、拝殿 国登録有形文化財

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 ●文化財に関する普及啓発の取り組み
まちづくりの市民団体と連携し、市民や来訪者に対する歴史資産の情報提供を積極的に行い、当市の魅力を伝えることが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 三重津海軍所跡の国史跡指定を記念したシンポジウムをはじめ、歴史・文化をテーマに講演会やシンポジウム、出前講座を開催した。
- 佐賀城跡東堀発掘、佐賀城天守台発掘調査に伴う現地説明会を開催した。
- 平成25年度の主な普及啓発事業 事業数:13件 総参加者数:11,268名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成25年度 主な普及・啓発事業一覧				
No.	事業名	開催日	参加人数	事業内容
1	東名遺跡出前授業	4月16日～5月14日 (13日間)	9校831人	東名遺跡からの出土遺物を実際に見たり触れたりすることで興味を持たせ、縄文人の食生活や高度な技術力を体感させる。また小学校で出土遺物のミニ展示を実施
2	東名遺跡体験学習	10月13日	小学生18名 保護者22名	現生のベンケイ貝を材料に、石と鹿角を使って貝輪を作成した。
3	東名遺跡シンポジウム	10月12日	200名	「貝と骨からわかる縄文人の素顔-貝塚に残されたもの-」公開シンポジウム
4	東名遺跡網みかごワークショップ	6月22日	53名	東名遺跡出土編みかごの復元作成体験
5	佐賀城東堀現地説明会	6月29日	250名	佐賀城東堀発掘調査現地説明会
6	三重津海軍所跡 国史跡指定記念シンポジウム 幕末佐賀藩、洋式船に挑む	7月13日	212名	三重津海軍所跡の国史跡指定を記念したシンポジウム開催
7	佐賀城貝合わせ製作体験	8月10日	40名	江戸時代の大名の嫁入り道具にもなった「貝合わせ」の製作体験
8	佐賀城築400年記念事業「近世城郭の整備と課題-これからの佐賀城-」	11月3日	180名	佐賀城天守台に関する公開シンポジウム
9	佐賀城天守台現地説明会	12月8日	150名	佐賀城天守台発掘調査現地説明会
10	佐賀城築400年記念事業「古文書を読んでみよう」	7月6日～11月2日	150名	佐賀城や佐賀藩に関連した面白いエピソードを取り上げた古文書講座
11	「よみがえる佐賀城」展	12月6日～平成26年1月13日	8,036名	佐賀城調査速報展及び講演会
12	世界遺産出前講座	平成25年4月15日、9月18日、10月24日、平成26年2月11日	87名	世界遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産 九州山口と関連地域」の構成資産である「三重津海軍所跡」について、団体等からの依頼により出前講座を実施
13	世界遺産地元説明会	平成25年6月24日から、自治会単位で随時開催	1,039名 (50自治会)	世界遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産 九州山口と関連地域」の構成資産である「三重津海軍所跡」について、地元(川副・諸富地区)の周知を図るために、自治会単位で説明会を実施

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
佐賀城、74年ぶり姿現す 東堀石垣 説明会に220人	平成25年6月30日	佐賀・讀賣・朝日・西日本
町屋で民家活用を 佐賀市で6、7日見学会	平成25年7月4日	佐賀・西日本
江戸期の姿そのまま 佐賀城西堀の石垣予備調査	平成25年5月9日	佐賀・讀賣・朝日・西日本
産業革命遺産 三重津海軍所跡 世界遺産推薦決定	平成25年9月18日	佐賀・讀賣・朝日・西日本
築城400年シンポ 佐賀城の姿に迫る	平成25年11月26日	佐賀
鍋島直正銅像再建へ 3年後目標 生誕200年機に	平成26年2月20日	佐賀・讀賣・朝日・西日本

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

行政や民間による取り組みについて、新聞等で取り扱われ、歴史資産を活かしたまちづくりへの機運が高まった。特に影響が大きいと考える項目は以下の4項目

- ・三重津海軍所跡を含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」世界遺産推薦決定
- ・佐賀城東堀の復元、西堀の保全について
- ・佐賀城築400年の節目の年にシンポジウム等開催
- ・鍋島直正生誕200年を機に銅像再建へ

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も機会を捉えて積極的なPRを行う。

状況を示す写真や資料等



「江戸期の姿そのまま」保存し護岸修復を模索
 佐賀城西堀の石垣予備調査
 5月9日 西日本新聞



佐賀城74年ぶり姿現す
 東堀石垣説明会に220人
 6月30日 西日本新聞



産業革命遺産「三重津海軍所跡」
 登録へ向け準備
 佐賀市長が歓迎
 9月18日 讀賣新聞

評価対象年度	平成25年度
<p>・法定協議会等におけるコメント</p>	
<p>コメントが出された会議等の名称: 佐賀市歴史まちづくり協議会</p>	
<p>会議等の開催日時: 平成26年5月26日(月) 15:00~17:00 場所: 佐賀市議会 第3会議室</p>	
<p>◆事業の進捗評価に対するコメント</p> <p>【佐賀城公園整備事業】 ・東堀の一部復元工事について、整備の仕方については地元等との調整が必要なところは協議を行いながら進められていくということだが、裏御門橋の文化財調査もぜひ行ってもらいたい。</p> <p>【旧久富家住宅取得保存修理事業】、【旧森永家住宅取得保存修理事業】 ・柳町はイベント時以外は人通りが少なく、大変と思うが、活用者にはなるべく長期にわたって活用してもらえるようにしてもらいたい。 ・外観の保全だけでなく、旧森永家は煙草、呉服商、旧久富家は履物問屋であったという昔の面影を残してもらいたい。 ・活用者が複数なので、核となる方が必要ではないか。</p> <p>【案内・説明看板及び誘導看板整備事業】 ・観光地として、いろんな方がおみえになることを考えて、ぜひユニバーサルデザインを検討してもらいたい。また観光におみえになる方には、看板にスマートフォンをかざしたらいろんな案内が出てくるような仕組みなどもあるので、検討されてはどうか。 ・既存の案内板を精査し、今後の整備のためのデザインを早急に検討すべきではないか。</p> <p>【石橋再生事業】、【周遊ルート環境整備事業】、【水路保全整備事業】 ・石橋、水路、防護柵(周遊ルート環境整備)については一体的に考えて整備をしてもらいたい。景観に配慮されていない防護柵越しから水路を見る箇所があるので、水を見せる工夫をしてほしい。</p> <p>【ファサード整備事業】 ・まちなみ形成ガイドラインを策定していない状況で、単体でファサード整備が行われており、ファサード整備として良いのか悪いのか判断が難しい。これからまちなみ形成ガイドラインを策定していくことになるが、佐賀市の歴史的風致維持向上計画の根本となる考え方に準じてこういう建物が秀でたもので、だからこのようなファサード整備をしましたという説明が必要となってくる。検討に要する期間は3年、4年あっても良いが、ガイドライン策定前に整備する場合でも、そういったことは十分考えて行う必要がある。</p> <p>【緑化推進事業】 ・面的に緑化を行ったということのみの評価になっていて、歴まち計画における緑のあり方というのがあったほうが良い。流行りの植物などを植えるだけでなく、歴史的な街並みに合う雰囲気、樹種、植え方なども検討すべきで、アドバイザーからのコメントをもらうことや、また民間へのアドバイスなども必要ではないか。</p> <p>《その他事業全般についてのコメント》 ・これから検討、整備していく事業については、方向性がなかなかみえないものもあるが、専門家、市民から意見を聴き、合意形成を図ることは大変なことだが、みんなで知恵を出して、悩んで事業を進めていくべき。特に石橋再生は、計画段階からかなり難しい事業になると思っていたので、文化財や土木が知恵を出し合っていくことを考えていくべき。</p> <p>◆評価シートの記載の仕方について ・平成25年度の進捗状況評価ということだが、検討中の事業については、特に長い事業期間の中での検討中で、「計画どおり進捗している」と評価されていると思うが、全体計画がないと判断が難しいし、定性的・定量的評価のところにはなんらか効果を記載することが必要ではないか。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>・事業実施が長期にわたる事業は、単年度ごとに進捗評価できるよう、年次計画を策定する。 ・評価シートの書き方について、全体計画の中での進捗状況や事業実施による効果がわかるような記載をする。 ・石橋、防護柵、案内板、説明看板の整備などの方針を決定するにあたっては、広く意見を聴く場を設けながら進めていく。</p>	